

第2回 ものづくり現場用語検定委員会

令和5年10月13日

一般社団法人東京都金属プレス工業会

役 職	氏 名	会社名	役 職
専門委員	石橋 弘彰	(株)日刊工業新聞社	編集局第1産業部長
〃	内原 康雄	(株)NCネットワーク	代表取締役社長
〃	小野田一夫	(有)カズ・システム	取締役社長
〃	片岡 征二	元湘南工科大学	教授 日本金属プレス工業協会 技術・教育教育委員長
〃	小渡 邦昭	塑性加工教育訓練研究所	代表
〃	添田 善信	東京都立城東職業能力開発センター	講師
〃	中島 次登	元中央労働災害防止協会	技術支援部 労働安全コンサルタント
〃	森 和男	(一財)先端加工機械技術振興協会	理事
〃	木下 浩司	(株)アマダプレスシステム	プレスシステム事業本部 エンジニアリング部プレスGR
委 員	高橋 恭久	(株)タカハシテクノ	代表取締役社長
〃	増田 靖治	(株)増田製作所	代表取締役社長
〃	貫井洋一郎	(一社)東京都金属プレス工業会	専務理事
事務局	栗原 一利	〃	

議事次第

1. 「ものづくり現場用語eブック」の制作について
2. ものづくり現場用語検定試験について
3. その他

製造業版「ものづくり現場用語検定」

本会は、工業立国ニッポンを支える人材育成は、製造業の生命線と考え、いろいろな形で教育の拡充を図っている。

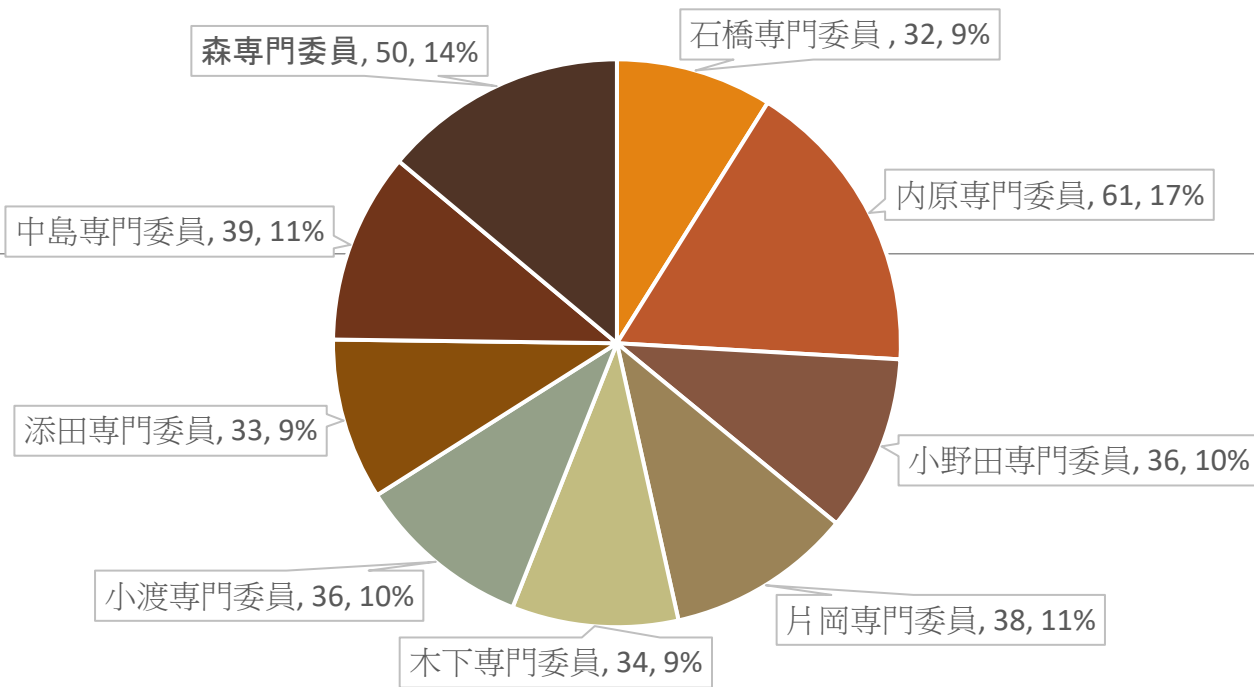
従業員の自己啓発の一環として、社内認定資格制度を導入している企業は多いが、工業会独自の検定制度を策定する。

検定制度とは、従業員が持つべき技術・技能や知識などのスキルを設定し、それらに応じた試験や研修を行うことによって、従業員が保有するスキルを判定するというものである。

各方面で活躍される有識者で構成するものづくり現場用語検定委員会を設置し、工業会認定教科書の作成と用語検定の試験問題を作成する。

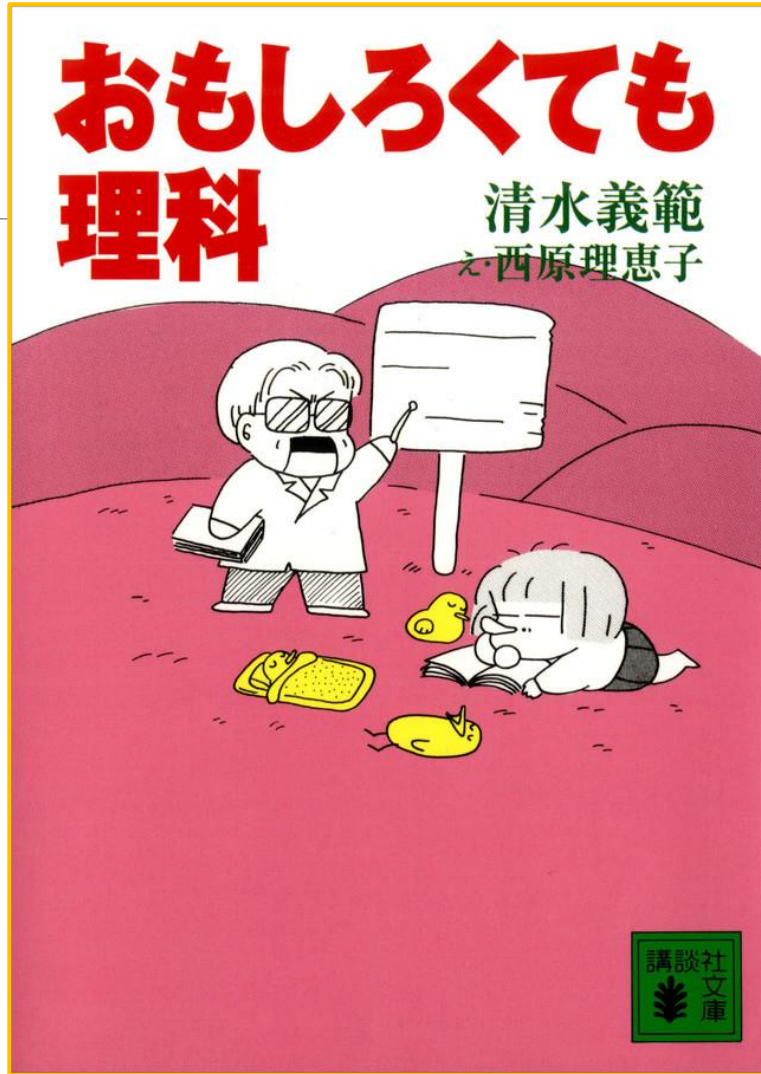


パート別選定用語数



NO	氏名	会社名	役職	担当分野	備考
1	石橋 弘彰	日刊工業新聞社	編集局第一産業部長	マスコミ/全般	
2	内原 康雄	(株)N Cネットワーク	代表取締役社長	CAD/CAM	賛助会員/経営企画委員
3	小野田一夫	(有)カズ・システム	取締役社長	金型製作、プレス加工、生産管理、金型標準化	
4	片岡 征二	元湘南工科大学	教授	プレス加工 (特に絞り加工)、潤滑油、材料	教育・訓練委員会 専門委員 (一社) 日本金属プレス工業協会 技術・教育委員会 委員長
5	小渡 邦昭	塑性加工教育訓練研究所	代表	プレス作業、図面、CAE、測定	教育・訓練委員会 専門委員
6	添田 善信	東京都職業能力開発協会	講師・職業訓練指導員	溶接、工具	
7	中島 次登	中央労働災害防止協会	安全衛生講師		安全講習会 講師
8	森 和男	(一財) 先端加工機械技術振興協会	理事	AI、IoT ほか	AI、IoT
9	木下 浩司	(株)アマダプレスシステム	プレスシステム事業本部エンジニアリング部 プレスGR	プレス機械・板金機械・周辺機器	賛助会員
10	高橋 恭久	(株)タカハシテクノ	代表取締役社長	プレス加工、金型製作	教育・訓練委員会 委員長
11	増田 靖治	(株)増田製作所	代表取締役社長	プレス加工、溶接	会長
12	貫井洋一郎	(一社) 東京都金属プレス工業会	専務理事	-	
13	栗原 一利	〃		事務局	

〔参考〕



【サンプル】

三面図

いま、あなたが目の前で見ているモノの形を誰かに説明しなければならなくなったとしよう。例えば、それが円柱形の柱だったとする。

「直径5センチくらいの円柱形の柱だよ」

とえば、ほとんどの人に伝えることができる。

また、誰でも知っている形のモノであれば、

「長さ15センチほどのバナナだよ」

という伝え方もある。

しかし、説明しなければならないものが、複雑な形状のモノで、しかも一言で言い表せられないものだったとしたら、どうか。

そこで活用できるのが、図面だ。図面は「情報伝達」をするために必要である。プレス加工現場にある図面は、「三面図」とも呼ばれる。これには理由があって、「三面」を使うからである。

イメージしやすいように、モノが透明な箱に入っているところを想像するといい。箱の面は6面ある。しかし、多くのモノは「正面から見る面」「上から見る面」「横(右)から見る面」

で立体の形状を適切に表すことができる。まさに「三面」。

高さ、幅、奥行きのある立体を正確に表現できるのが図面。つまり「三面図」、というわけなのである。

ただし、「三面図」のみでは形状を表すことができない場合は、補助的な方法が必要になる。また、円柱などは二面からの図面で済んでしまうが、これを二面図とは言わない。

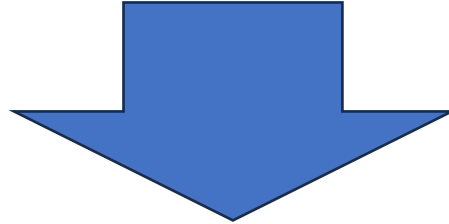
図面は、金型・機械などの構造・工程（作り上げる順番）を細かく示すことができ、設計図とも呼ばれる。ときどき現場で「図面を引く」という言葉が年輩者から飛び交い、若い人から「？」となることもあるが、これはかつて図面は手書きでエンピツなどによって書かれていたからである。

一度、覚えた言葉はなかなか変えられないもの。逆に、覚えてしまえば一生モノになる、ということでもある。

用語検定の問題例（案）

* マークシート採点を想定して、4択とする。

* 正誤問題でなく、文章への用語挿入・用語の選択用語の特徴（特性）の選択 等が考えられる。

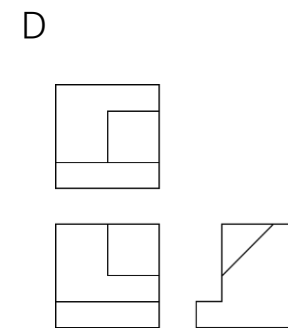
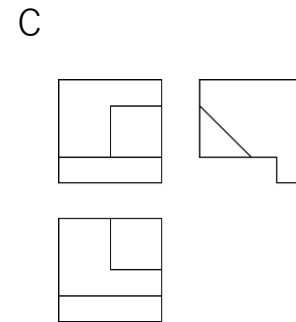
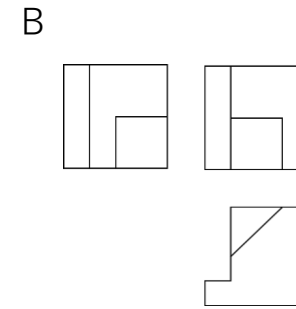
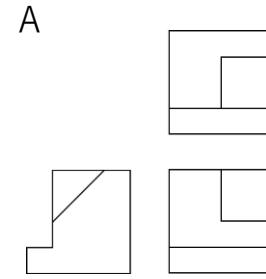
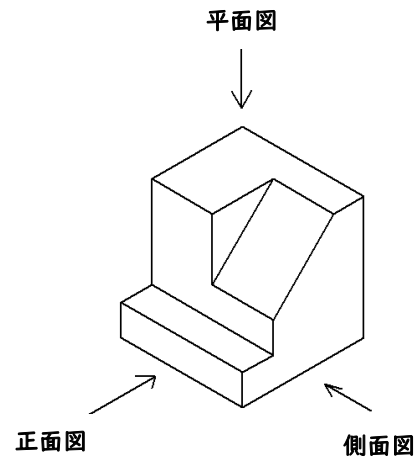


1：下記の①に入る用語で適切なものをAからDのどれか。

- 軸受けのシャフトを挿入しようとしたが、スムーズの入らない。外径は、マイクロメータで先端・中間・末端の3ヶ所測定したが、指定寸法であった。そこで、「①」を確認する必要性が生じた。
- A：「形状公差」まんまるなので本来あるべき形状
- B：「姿勢公差」基準に対する姿勢
- C：「位置公差」あるべき位置
- D：「振れ公差」回転させた時の軸のフレ

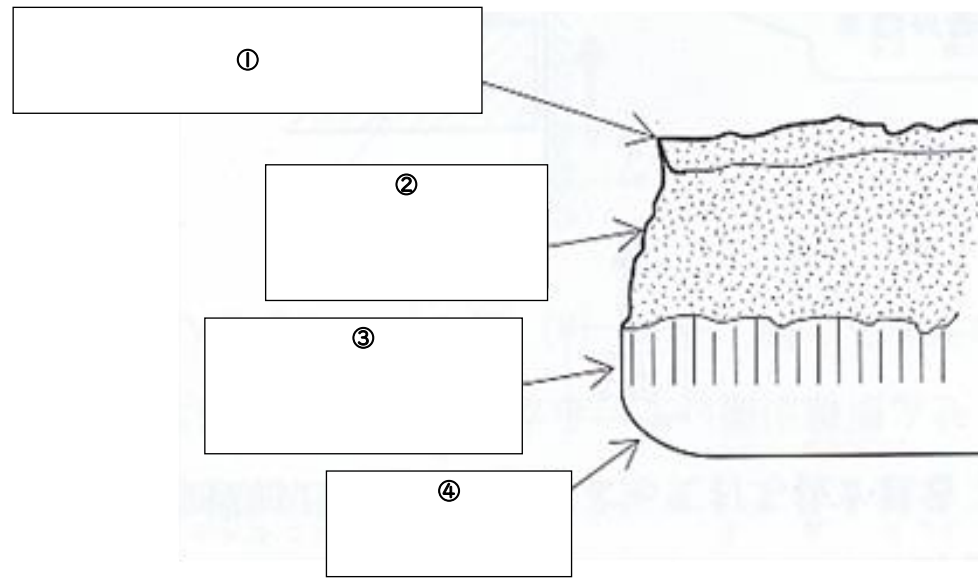
現場での会話等を
想定する。

2：下図の形状を第三角法で作図したとき、適切な「3面図」とはAからDのどれか？



3：せん断加工された端面を状態である下図の中の①から④までの名称で適切な組み合わせは、A～Dのどれか。

- | ① | ② | ③ | ④ |
|--------|------|------|------|
| A：せん断面 | だれ | バリ | 破断面 |
| B：破断面 | せん断面 | だれ | バリ |
| C：バリ | 破断面 | せん断面 | だれ |
| D：だれ | バリ | 破断面 | せん断面 |



その他

1. 次回会議日程 1 2 月 日 () 時 分